

# インフラ整備70年 講演会(第59回)

～戦後の代表的な100プロジェクト～

## 近代治水の発展に、地域と共に歩んだ北上川五大ダム

### <講演内容>

1. 北上川の概要
2. 近代治水の発展に、地域と共に歩んだ北上川五大ダム
3. 北上川五大ダムにおける水没補償と地域合意形成  
～説得から納得へ～
4. ICT技術から次世代スマート生産システムへ  
～胆沢ダムでの試み～
5. 北上川五大ダムの効果 ～地域の声～

### <講演者>

平山健一 元岩手大学学長 名誉教授  
佐藤伸吾 元国土交通省 北上川ダム統合管理事務所長  
松本孝矢 鹿島建設(株) 前成瀬ダム堤体打設JV工事事務所長

### <コーディネーター>

渥美雅裕 元建設省 胆沢ダム工事事務所長

# 2025年 5月8日 (木)

講演会: 14:00～16:00

〔会場では「石淵ダム工事記録映画」(13:20～13:45)を  
放映しますので早めのご来場をお待ちしております〕

場 所: 日立システムズホール仙台  
(シアターホール 会場・WEBのハイブリット形式)

定員: 会場 500名 (受付12:30開始) WEB 1000名 (13:50入室開始予定)

主催: (一社) 建設コンサルタンツ協会 後援: (公社) 土木学会

同時開催: 北上川五大ダム写真展 (11:00～16:40 同場所3F ギャラリー&エッグホール)

主催: (一社) 東北地域づくり協会

協力: 国土交通省北上川ダム統合管理事務所、(一社) 東北建設マネジメント技術協会

我が国の大河川では初めて、水系一環の多目的ダム群による治水計画である「北上川上流改修計画」(1946・S16年)に基づき建設された北上川五大ダムをテーマとした内容である。

このプロジェクトは、単に5基の巨大なダムを築造したということに留まらず、戦時下に着手した田瀬ダムから、石淵ダム再開発となる胆沢ダム完成までの72年間にも及ぶ現地建設の実践から得られた様々な知見、多くの教訓の積み重ねにより、我が国の多目的ダム建設に係る法制度の整備や水没補償と地域合意形成の有り方、そして新しい建設生産技術などに大きな影響を与え、その発展に貢献してきたことを紹介する。

(本講演会は、建設コンサルタンツ協会CPDプログラムとして認定されております)



湯田ダム(上・左)、田瀬ダム(上・右)  
四十四田ダム(中・左)、御所ダム(中・中央)  
石淵ダム(中・右)、胆沢ダム(下)

写真提供: 国土交通省北上川ダム統合管理事務所

# インフラ整備70年講演会(第59回)

## 近代治水の発展に、地域と共に歩んだ北上川五大ダム

### 《講演者》

平山健一 元岩手大学学長 名誉教授

佐藤伸吾 元国土交通省 北上川ダム統合管理事務所長

松本孝矢 鹿島建設(株) 前成瀬ダム堤体打設JV工事事務所長

### 《コーディネーター》

渥美雅裕 元建設省 胆沢ダム工事事務所長

### 講演会 申し込み方法 (変更がありますのでご注意ください)

- 会場 (講演会無料)、WEB (講演会無料) どなたでも申し込みできます。
- お申し込みは協会HP (<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>) よりお願いします。

### 【注意事項】

- ▶ お申し込みは先着順となります。定員に達した時点で締め切りとなります。
- ▶ 申込後に完了通知メールが送付されます。送付されない場合はメールアドレスに不備がありますので、再度、申込手続きをお願いします。
- ▶ 申込時の個人情報<sup>※</sup>はインフラ整備70年講演会に関する事項のみに使用し、第三者には提供しません。
- ▶ 許可なく講演内容の録画・録音による転用等<sup>※</sup>はご遠慮頂きますようお願いいたします。

### <WEB配信について>

- ▶ 申込完了者には、ZOOM入室URL(事前登録用)を講演当日の前日までに送付させていただきます。
- ▶ 受講証明書が必要な場合は必ず個人単位で申込みください (複数名での視聴は申込者のみが証明書の発行対象となります。申込みデータとのCHKを行います)

問合せ先 E-mail : [infra70@jcca.or.jp](mailto:infra70@jcca.or.jp)

### 「インフラ整備70年」講演の目的

20世紀後半から今日までの70年間は、我国のインフラ整備事業が最も広汎かつ大規模に進められた時期であり、現在の我国社会が享受しているインフラサービスの過半がその時期に新たに整備されたり大改良を加えられたりした事業の成果そのものであると<sup>※</sup>いって過言ではありません。それらの事業の記録はさまざま形で残されていますが、それに関わった人々の声を聴く機会は少なくなっています。

今般、(一社)建設コンサルタンツ協会では、戦後のインフラ整備事業の代表的な事例に直接、間接にかかわった方々からその経験や見聞を講演していただき、それを記録することで、インフラ整備の意義や携わった人々の偉業を、コンサルタント技術者にはもちろん、広く一般社会に伝えたいと思っています。

そのため、(一社)建設コンサルタンツ協会本部に「戦後インフラ整備事業研究会」を設置し、各種の事業の中から100プロジェクトを選び、インフラストラクチャー研究会の協力を得て、それらについての講演会を開催するものとなりました。

\*建設コンサルタンツ協会では、これまでの講演概要資料及び今後の予定を協会HPにて公開しています。また、各講演会の概要資料は、協会広報誌“Consultant”別冊として発行予定です。

<次回講演会予定> 第60回講演会 2025年7月2日(水) 16:00~18:00 (政策研究大学院大学想海樓ホール)

テーマ：東北新幹線東京・大宮間建設 ~地域との合意形成、地域との調和への挑戦~ (仮題)

講演者 橋口 誠之 元東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長

中井 雅彦 日本コンサルタンツ(株) エグゼクティブアドバイザー (元東日本旅客鉄道(株) 代表取締役副社長)

村尾 公一 東日本旅客鉄道(株) 技術顧問 (元東京都技監)

野澤伸一郎 JR東日本コンサルタンツ(株) 常務取締役 (前東日本旅客鉄道(株) 執行役員構造技術センター所長)

\* 会場参加とライブ配信のハイブリットにて行う予定です

# 北上川五大ダム写真展



2025年5月8日(木)

写真展:11:00~16:40(入場無料)

会場:日立システムズホール仙台3F ギャラリー&エッグホール

主催:(一社)東北地域づくり協会

協力:国土交通省北上川ダム統合管理事務所、(一社)東北建設マネジメント技術協会

旧国鉄横黒線[湯田ダム](上左)、中通り地区[田瀬ダム](上右)

おじいさんと孫[御所ダム](中)

本体施工状況[四十四田ダム](下左)

トロッコからの原石投下[石淵ダム](下右)

写真提供:(一社)東北建設マネジメント技術協会

国直轄の河水統制事業として1941年(昭和16年)から建設着手した田瀬ダムをはじめとした北上川五大ダムの建設時の工事写真や、水没地域の風景・暮らしなどの写真をパネル展示します。

多くのダムに活かされた北上川五大ダムの技術や、先祖代々の貴重な土地を提供していただいた地権者のいまなお“古里”の懐かしい写真が展示されます。

なお同日同会場にて、インフラ整備70年講演会として「近代治水の発展に、地域と共に歩んだ北上川五大ダム」(主催:(一社)建設コンサルタンツ協会)が開催されます。

詳細は(一社)建設コンサルタンツ協会の次のURLを参照して下さい。

<https://www.jcca.or.jp/infra70new/reserve/>

また田瀬ダムでは、日本で初めて高圧放流設備を導入し、その後の設計技術の確立・進展に寄与したとして、令和元年8月に日本機械学会より「機械遺産」に認定されております。

さらに北上川上流に建設された「5つの多目的ダム」が令和3年9月に「北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・かんがい用水・上水道用水などの機能を併せた多目的ダム群として、北上川上流域の地域経済発展に寄与した貴重な土木遺産」として土木学会より土木学会選奨土木遺産に認定されております。これらのパネル写真も展示されます。

詳しくは、下のQRコードを参照して下さい。



田瀬ダム機械遺産



北上川五大ダム土木遺産



5つの多目的ダム